令和５年度　学校評価のための教職員による自己評価

令和6年1月29日

（４：十分行われている　３：ほぼ行われている　２：あまり行われていない　１：行われていない）

１　学校全体の状況・教育活動

項　目		内　　容	平均
グローバル教育	1	グローバル教育活動を通して、他者と関わる力及び協働する力を育成する。	3.5
学習指導	2	確かな学力の養成をめざし、新たな指導方法の研究と授業改善に努める。	3.4
危機管理体制	3	災害や事故防止のための管理体制が整っており、組織的に機能している。	3.2
家庭・地域との連携	4	家庭や地域の意見が、教育活動に反映されている。	3.3
	5	家庭との連絡は適切に行われている。	3.4
教職員の服務に対する意欲・姿勢	6	教職員として自信と誇りをもち、職務に取り組んでいる。	3.5
	7	教職員相互の連携と協力のもとに教育活動に取り組んでいる。	3.4

２　教務部

教育課程	8	魅力ある教育課程の編成に向けて、教育課程委員会、教科主任会議等を通じ、全職員が教育課程に取り組む環境を整備する。	3.5
	9	学校改革のための情報提供を行うとともに、関連する調査や統計などについて支援を行う。	3.5
授業	10	互見授業を積極的に推進するとともに、授業方法・評価方法の改善のための支援と情報共有を行う。	3.4
校務処理・運用	11	業務を計画的に行うとともに、諸規程の整備と諸表簿の正確な作成と管理を徹底する。	3.7
ICT活用推進と環境整備	12	ICTに関する教員研修会等を通し、ICT活用技術の伝達・教員の情報共有を推進するとともに、授業におけるICT活用のための環境を整備する。	3.4

３　生徒指導・保健部

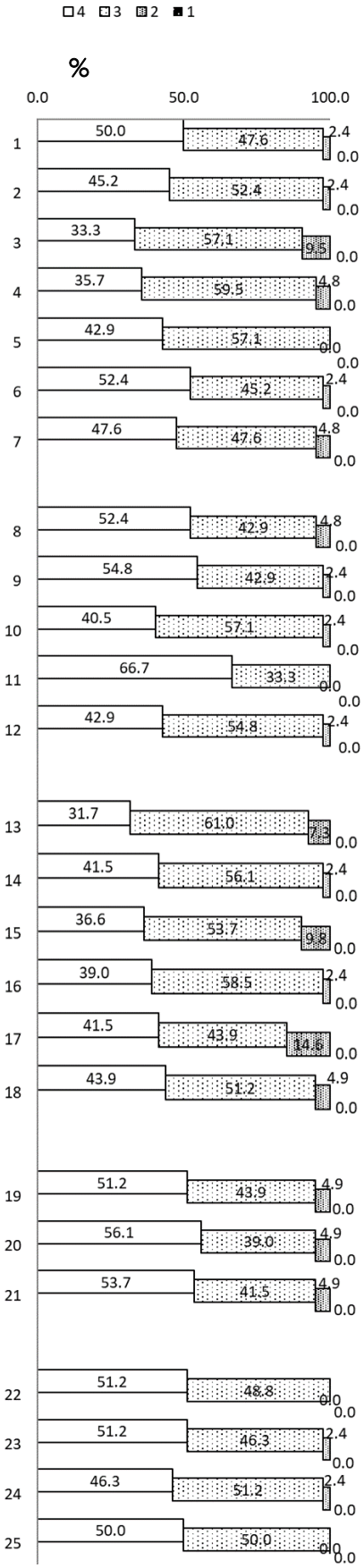
生活指導	13	全教職員の共通理解に基づく指導体制のもと、家庭・地域・関係機関との連携を図りながら生徒の育成に努める。また、心の通った挨拶の励行、容儀指導を行う。	3.2
安全指導	14	事故・非行の未然防止に努めるために、安全指導・安全教室等を開催する。また、日常の生活においては、交通事故や自然災害及び感染症対策を重点にした指導を適切に実施する。	3.4
特別活動	15	ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事、更にはボランティア活動、地域活動を通して、社会性やコミュニケーション能力の育成、また、郷土への誇り、グローバル社会に貢献する態度を育てる。	3.3
教育相談	16	教職員間や保健室との連携を図り、生徒の多様な特性等を早期に把握し、生徒理解に努める。また、生徒支援委員会の機能を生かし、特別な配慮を必要とする生徒の対応に努める。	3.4
環境美化	17	設安全点検や清掃点検等を通して、安全で清潔な学習環境を整えるとともに、物を大切にする心を育成する。	3.3
いじめ防止	18	いじめをしない生徒の育成を行うため、生徒主体のいじめ防止活動を推進する。また、いじめ防止対策委員会と連携し、いじめの早期発見・早期対応に努める。	3.4

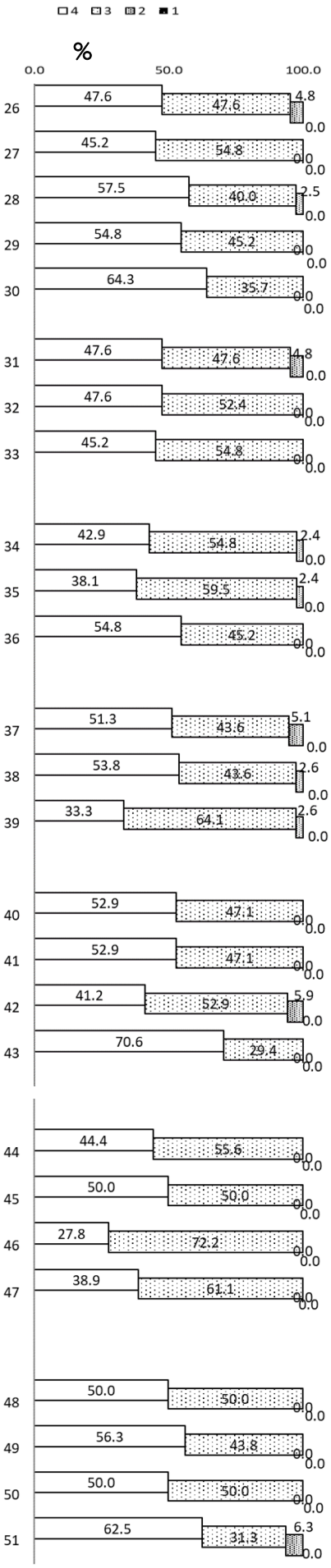
４　進路指導部

学力把握と学力向上対策	19	生徒一人一人の学力の把握と、学力及び主体性を身につけるための取組を行う。	3.5
情報提供と進路意識の向上	20	進路情報の提供、進路決定の支援、進路意識の高揚に向けた取組を行う。	3.5
個別の進路への対応・支援	21	校内における進路指導体制の構築と情報共有の取組を行う。	3.5

５　渉外部

父母教師会	22	父母教師会における諸活動において可能な限り適切に行われるよう支援する。	3.5
（一財）後援会	23	奨学金制度の円滑な運営を図る。	3.5
	24	後援会バスの適切な運営と生徒会館の適切な利用を図る。	3.4
同窓会	25	同窓会理事会を円滑に実施することができた。	3.5





6　図書部

図書館利用	26	生徒の読書推進に務め、「読書・学習センター」としての機能の充実を図る。	3.4
	27	書籍（図書資料）の収集・整理に努め、教職員のサポート機能の充実を図る。	3.5
	28	ＰＥＮ活動で思考力・判断力・表現力の育成を図る。	3.6
委員会活動	29	図書委員会活動の活性化に努める。	3.5
芸術鑑賞	30	芸術鑑賞教室の計画と運営を行う。	3.6

7　外国語科

専門学科としての目標	31	外国語科が有する資源を有効活用し、普通科と連携を図りながら、国際理解教育に取り組んだ。	3.4
	32	国際交流事業（オンライン交流等）を通じて、生徒の伝えようとする気持ちを養った。	3.5
	33	校内外で、英語、ロシア語の探究活動を実施し、異文化理解や語学力の向上を図った。	3.5

8　グローバル探究部

総合的な探究の時間	34	「総合的な探究の時間」の計画及び運営を通じて、探究活動に必要なスキルや批判的思考力の育成に取り組んだ。	3.4
グローバル探究科	35	グローバル探究科の開科に向けて、グローバル探究科における教育内容の制定及び学科開設に係る広報活動を行った。	3.4
IBDP	36	ＩＢＤＰの認定に向けて、認定申請提出のための準備や、IBへの理解を深め校内一丸となって取り組む体制の構築に取り組んだ。	3.5

9　事務部

重点目標	37	学校経費（県費・諸会費）の効率的な執行。	3.5
	38	施設・設備の安全・維持管理。	3.5
	39	地球に優しい青森県行動プランの推進継続。	3.3

10　第1学年

生活指導	40	基本的な生活習慣の確率と心身共に健康な生徒の育成を、全ての学校生活を通して計画的に行った。	3.5
学習指導	41	自主的に学習に取り組み、進路達成のために必要な知識を身につけた生徒を育成するために、授業や講習などの学習指導を計画的に行った。	3.5
生徒指導	42	グローバルな視点に立ち、他者を認め誰とでもより良い関係を気付くことができる生徒を育成するため、授業等の学校生活全体や学校行事を通して計画的に行った。	3.4
進路指導	43	総合的な探究の時間（SDGｓ、職業研究、地域課題研究）および外部団体の体験行事などを通して、自らの進路を主体的に考える生徒を育成するための指導を行った。	3.7

１１　第2学年

生活指導	44	「特別活動」や「総合的な探究の時間」を通して多くの価値観に触れることで〈多様性を獲得〉し、自分とは異なるモノを尊重することができた。	3.4
学習指導	45	①「対話的活動」による〈学び合い、支え合える生徒集団づくり〉 ②「ICT利活用」による〈個別最適化された学習スタイルの確立〉 上記２点を通して、最終目標である《学習の自走化》率を高めることができた。	3.5
生徒指導	46	挨拶、清掃、服装容儀、時間厳守など、学校生活をする上で基礎基本となるものの指導を通して、〈社会性〉と〈規範意識〉の醸成を深めることができた。	3.3
進路指導	47	「個別の探究活動(外部講習やOPCへの参加)」を通して〈志望理由を明確化〉し、個々の必要に応じて〈ポートフォリオの構成要素を増やす〉ことができた。	3.4

１２　第3学年

生活指導	48	主体性をもって他者と協働する態度を身につけた生徒の育成と、充実した学校生活を送ることを目標に、日々の面談、総合的な探究の時間やホームルーム活動、学校行事を通して指導した。	3.5
生徒指導	49	挨拶、清掃、時間管理などの基本的な生活習慣が確立できるよう、計画的に指導を行った。	3.6
学習指導	50	授業および各種講習や夏期集中セミナーなどの学習指導を通して、学力向上の取り組みを適切に行った。また、生徒が自分の学習を振り返ることができるよう指導した。	3.5
進路指導	51	進路志望達成を目標に、面談を通して各生徒の進路志望の把握や、情報提供・相談・助言を行い生徒を支援した。また、多様化する大学入試などに向け、小論文指導や面接指導を適切に実施した。	3.6